

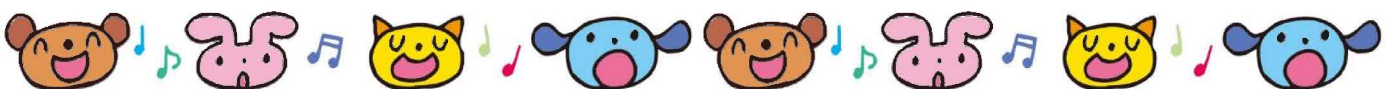
冷暖自知

立春が近付き、暦の上では春になる季節を迎えました。しかし、実感としてはまだまだ寒さを感じる人が多いのではないのでしょうか。先日、伊藤幼稚園の園庭に隣接する小学校のプールの水が凍った日がありました。子どもたちは興味津々にプールサイドに足を進め、プールに落ちないように恐る恐る自らの手で氷を触ります。「冷たい!」と、驚いているような、喜んでいるような表情で子どもたちは自分の感じたことを表現しています。隣には、そんな子どもたちの様子を受け止め共感しながら、担任がプールの表面の氷を割っています。子どもたちが自分の手に取れるようにすると、「冷たいね」「向こうが透けて見えるね」「この氷はさっきのより厚いね」「この形は魚みたいだ」など手に持てるようになったことでまた違う発見をしています。手に力を入れたり、手からつるっと滑って地面に落ちたりして氷が割れることに気付くと、割る楽しさが手の冷たさを忘れさせました。日陰のほうが厚い氷がありそうだと予想して、厚い氷を探したり、何度も何度も氷を手に取り、割ろうとしたりと楽しそうに声を上げて遊ぶ様子がありました。

さて、タイトルにある冷暖自知は、有名な禅語の一つですね。『人の水を飲んで冷暖自知するがごとし』という言葉で、人は自分で水を飲んで、初めて冷たい熱いを知るという意味です。何事も頭で考えているだけでは真実は分からず、自らの身体と心で経験することが大事だと、実体験の重要性を表しています。天気予報を見て、今日の気温が何度で、今日は寒い日なんだと知識で知っていることも大切ですが、凍った氷に触れ、その冷たさや氷の性質を直接体験することは、幼児期に限らず大切なことだと思います。

実はこの時期の伊藤幼稚園では、自然の中で『冷』だけでなく『暖』も感じることができます。伊藤幼稚園の園庭は南向きで、太陽が出ていると日なたになる場所が多く、この季節でも十分な暖かさを感じます。この暖かさは、子どもたちの心をほぐしてくれ、園庭で遊びたい気持ちを後押ししてくれます。4歳児と5歳児と一緒に遊ぶことも多く、体を動かして遊ぶことを楽しみ、心も体もぽかぽかと暖まっているようです。

副園長 坂井憲一郎



【教育目標】

- ・健康でたくましい子ども
- ・考えて創り出す子ども
- ・心豊かで思いやりのある子ども



<4歳児 りす組>

- いろいろな遊びを通し、繰り返し試したり、工夫したりして遊ぶことを楽しむ。
- 身近な冬の自然や栽培物に興味をもって関わり、変化に気付いたり、面白さや不思議さを味わったりする。
- 自分（たち）のできることに気付き、進んで行おうとしたり、自分（たち）のできた満足感を味わったりする。

<5歳児 しか組>

- 学級の友達と共通の目的に向かって取組み、やり遂げる達成感や充実感を味わう。
- 少し先の予定が分かり、見通しをもって必要なことを考え、自分から取組もうとする。
- 冬の様々な自然事象や、少しずつ春に向かって変化していく様子に気付き、自分から関わったり、疑問に感じたことを調べたりする。



いとつピックス



新年を迎え、昔からある遊びを楽しんでいます。

「たこあげ」。自分で絵を描いたたこを学校の校庭で思い切り走って上げました。上がってほしくて、息が切れてもなお走り続ける園児のパワーが爆発していました。

「すごろく」。部屋全体で自分が動く大きなすごろくを作ったり、大きな紙に書いたすごろくを作ったりして、何度も繰り返し楽しんでいます。

「こままわし」。できるまで、くじけずに何度も何度も挑戦する姿がたのしいです。友達が回せた時、自分のことのように飛び上がって喜ぶ姿が美しいです。

しか組では、「マフラー作り」。一度始めたら、他の遊びに目もくれず、1時間以上も熱中している園児もいます。すごい集中力です。

夢中に遊ぶ園児の姿は、情熱があふれています。厳しい寒さを吹き飛ばすほどの熱さに、心を温めてもらっています。

(文 石出)



≪3月の主な予定≫

- 3/ 1 (金) ひな祭りの会
- 3/ 4 (月) 誕生会・未就園児交流会(ひよこ組)・身体測定・PTA 役員会
- 3/ 5 (火) りす学級懇談会
- 3/ 6 (水) こどもお別れ会
- 3/ 7 (木) しか組学級懇談会・安全指導日・にじ組新規申込締切
- 3/ 8 (金) 避難訓練・にじ組4月分利用申込
- 3/12 (火) 弁当最終日
- 3/14 (木) 修了式リハーサル
- 3/18 (月) 修了式
- 3/20 (水) 春分の日
- 3/25 (月) 終業式(りす組)

※予定は変更することがあります。

